

PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

【2009年4月3日公開版】

サーバ監視ソフト ServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agentについて

サーバ監視ソフトServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agentでは以下のような機能があります。

(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003)

項目	ServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agent
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 電源投入/切断スケジュール(一部未サポートモデルあり) パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など)
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス(監視対象サーバ上、管理サーバ上) ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	○
使用メモリ	16~32MB

※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログインしていないと表示されません。
ログインしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。
また、イベントログにて発生を確認することができます。

(Red Hat Enterprise Linux/VMware)

項目	Linuxサーバ上	監視用Windows端末
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 * Web Extension/ ServerView S2使用による	サーバ状態監視 電源投入/切断 スケジュール運転設定 * モデルによる パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など) ※しきい値マネージャは使用できません。
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	○	—
使用メモリ	32MB以上	16~32MB

*LinuxサーバよりSNMPトラップを受信しての処理となる

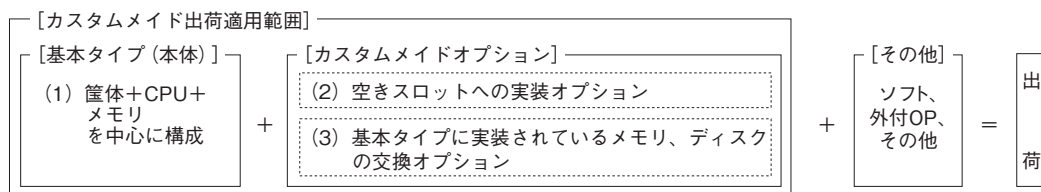
カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ/ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。

カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について

カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。
それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

(1) 基本タイプ(本体)

ECONEL 100 S2/TX120 S2/TX150 S6/TX300 S4/RX100 S5/RX200 S5/RX300 S5/RX600 S4/BX620 S4の全タイプが対象となります。
(TX300FT S4/TX300HA S4/オールインワンタイプを除く。)

(2) カスタムメイドオプション: 空きスロットへの実装オプション

PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注: FMVとの共通製品等を除く。)

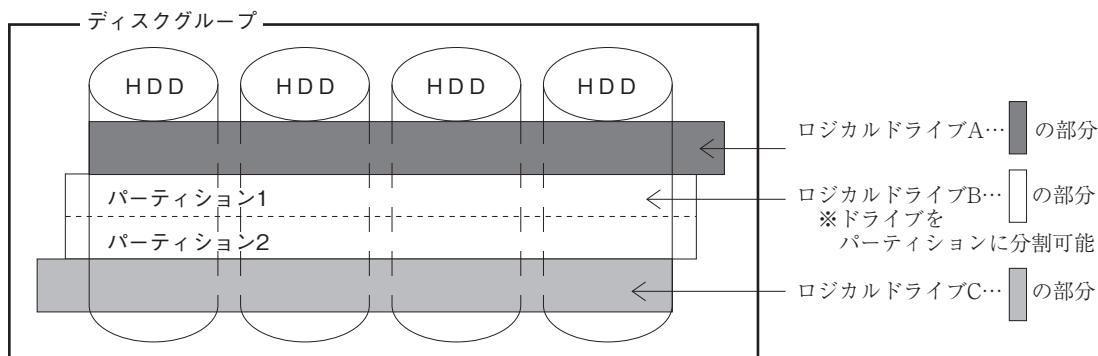
2. ディスクレスタイプにおけるカスタムメイド出荷について

ディスクレスタイプでOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先のハードディスク以外のオプション装置(ハードディスク、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意ください。

ハードディスク関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

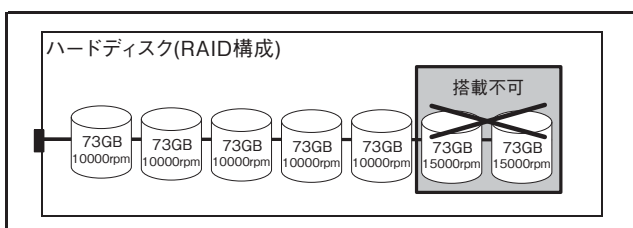
- ・ディスクグループ・・・・・・1つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
- ・ロジカルドライブ・・・・・・OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション・・・・・・OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



<構成規則について>

- (1) ディスクグループは必ず同じ型名のハードディスクユニットで構成してください。
- (2) ブートロジカルドライブのサイズは2TB未満に設定してください。
ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (3) 1つのフィジカルバックを構成するハードディスクユニットの台数は以下のとおりです。

・ RAID0	(性能向上のために、データを複数ディスクへ分割して書き込む方式)	— 1～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の総和]
・ RAID1	(信頼性向上のために、ディスクを二重化し同一データを書き込む方式)	— 2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2]
・ RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書き込む方式)	— 4～32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2]
・ RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書き込む方式)	— 3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したディスク台数-1)台分]
・ RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書き込む方式)	— 3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したディスク台数-2)台分]
- (4) 1つのディスクグループを複数のロジカルドライブに分割した場合の各ロジカルドライブのRAIDレベルは同じもののしか設定できません。
- (5) 1つのディスクグループは必ず、同一のアレイコントローラにつながるハードディスクで構成してください。
- (6) 1つのアレイコントローラで複数のディスクグループを設定することが可能です。但し、ハードディスクユニットは以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ディスクグループは同型名のハードディスクで構成する。
 - ・複数のディスクグループを同容量のハードディスクで構成する場合は、すべて同型名のハードディスクで構成する。
- (7) 1つのアレイコントローラで複数の異なるRAIDレベルの設定が可能です。但し、以下の条件を満たす必要があります。
 - ・同一ディスクグループ内のロジカルドライブは同一のRAIDレベルとする必要があります。
 - ・1つのディスクグループ内には複数のロジカルドライブが作成できます。(最大8個)
- (8) ホットスベアディスクはディスクグループ中に接続されている同型名のハードディスクで設定して下さい。
- (9) 異なるハードディスクを使用した複数のディスクグループが存在する場合にホットスベアディスクを設定する場合は、各々のディスクグループに対して同型名のホットスベアディスクを最低1台設定して下さい。
- (10) 1つのアレイコントローラ内で、同容量でかつ回転数の異なるハードディスクを混在させることはできません。



ハードディスクキャビネット／SASアレイコントローラカード／SCSIカード／SASカードの注意事項

- ハードディスクキャビネットについて
OSは必ずサーバ本体に内蔵ハードディスクにインストールする必要があります。
- SASアレイコントローラカード[RX600 S4標準搭載]について
 - ①SASアレイコントローラカードに接続可能なハードディスクはサーバ本体に内蔵ハードディスクのみです。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[RX300 S5標準搭載]について
 - ①ハードディスクベイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003のみサポート)
- オンボードSASコントローラ[RX100 S5(SASモデル)/BX620 S4標準搭載]について
 - ①オンボードSASコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体に内蔵ハードディスクのみです。
 - ②オンボードSASコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数のハードディスク2台のみ接続可能です。
 - ③オンボードSASコントローラで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- オンボードSATAコントローラ[ECONEL 100 S2/TX150 S6(SATAモデル)/RX100 S5(SATAモデル)標準搭載]について
 - ①オンボードSATAコントローラに接続可能なハードディスクは内蔵ハードディスクのみです。
 - ②オンボードSATAコントローラでRAIDを構成する場合は、RAID1を2セットまで構成可能です。
- SASコントローラカード[TX120 S2/TX150 S6(SASモデル)/TX300 S4/RX200 S5標準搭載]
 - ①接続可能なハードディスクは、サーバ本体に内蔵ハードディスク4台までです。
 - ②RAIDを構成する場合はハードディスク2台までです。
 - ③SASコントローラカードで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- SASアレイコントローラカード[PG-248B/PG-248B1/PG-248B2/PG-248BC/PG-248C/PG-248C1/PG-248C3/PG-248C2L]について
 - ①ハードディスクベイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[PG-248G/PG-248G1/PG-248G3L]
 - ①PRIMERGY SX35接続用のカードです。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
 - ③1枚のカードでSX35を2台まで接続可能です。
- SASアレイコントローラカード[PG-248EL/PG-248FL/PG-248GL]
 - ①PRIMERGY SX650 ストレージブレード接続用カードです。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)

●消耗品の扱いについて

以下のアレイコントローラに搭載されているバッテリーは消耗品となります。
寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。
※本寿命は温度環境が25℃の場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。
※RAS支援サービスによる事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

消耗品(バッテリー)搭載アレイコントローラカード			交換用バッテリー	
	型名	寿命	品名	型名
SASアレイコントローラカード	PG-248C / PG-248C1 / PGB2U48C / PGB2U48C1 / PGB2U48C2	約3年	⇒	バッテリーバックアップユニット PG-BBU1
SASアレイコントローラカード (RX600 S4標準搭載品)	—	約3年	⇒	バッテリーバックアップユニット PG-BBU3
SASアレイコントローラカード	PG-248G / PGB248G	約3年	⇒	バッテリーバックアップユニット PG-BBU4
SASアレイコントローラカード	PG-248GL / PG-248G1 / PG-248G3L / PG-248C3 / PG-248C2L / PGB248GL / PGB248G1 / PGB248G3L / PGB2U48C3 / PGB2U48C2L	約3年	⇒	バッテリーバックアップユニット PG-BBU5

システム構成図留意事項

●SCSIカード[PG-1301L/PG-2281/PG-2281L]について

- ①本カード1枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。
その際は、カードを分けて接続してください。

●SASカード[PG-228B/PG-228BL/PG-224B]について

- ①本カード1枚に外付SAS装置と内蔵SAS装置を同時に接続することはできません。
その際は、カードを分けて接続してください。

接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット		ECONEL 100 S2	TX120 S2	TX150 S6	TX300 S4	RX100 S5	RX200 S5	RX300 S5	RX600 S4	BX620 S4
PRIMERGY SX35 (SAS)	型名	-	-	-	4	-	2	2	4	-

メモリ関連事項

OSにおける使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS	使用可能メモリ容量
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	4GB (*1) (*2)
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	64GB
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	32GB (*2)
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	2TB
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	2TB
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	4GB (*1) (*2)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	64GB (*3)
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	32GB (*2)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows Server® 2003, Standard Edition	4GB
Windows Server® 2003, Enterprise Edition (SP1 以降)	64GB (*3)
Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	32GB
Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows® Small Business Server 2008 Standard	32GB
Windows® Small Business Server 2008 Premium	32GB
Windows® Small Business Server 2003 R2, Standard Edition	4GB
Windows® Small Business Server 2003 Standard Edition	4GB
Windows Server® 2008 Foundation	8GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB (*4)
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB (*4)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	144GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	144GB
VMware® Infrastructure 3 Version 3.0	64GB
VMware® Infrastructure 3 Version 3.5	144GB

(*1) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)/ Windows Server® 2003 R2, Standard Editionがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは4GBまでです。
※基本Windows OS変換機構 (System Center Virtual Machine Manager 2008)[PGBSUW10]適用時は32GBまで増設可能です。

(*2) インストールされているOSがなく、Windows Server® 2008 Standard/ Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionがバンドルされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは32GBまでです。

(*3) PRIMERGY RX600 S4においては、62GBまでのサポートとなります。

(*4) Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)/ Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)がインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは12GBまでです。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

<Windows関連>

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows Server® 2008 Standard (32-bit) /Enterprise (32-bit) / Standard (64-bit) /Enterprise (64-bit) / Datacenter (64-bit)			Windows Server® 2003 R2, Standard Edition /Enterprise Edition / Standard x64 Edition /Enterprise x64 Edition			備考
					Windows Server Backup	CA ARCserve® Backup r12	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1023	RDX	40 ↓ 160	16	×	○	×	○	○	○	・メンテナンスフリー
	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	×	○	×	○ Server Start	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	×	○	×	○ Server Start	○	○	
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	×	○	×	○ Server Start	○	○	
LTO 装置	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	×	○	×	○ Server Start	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20MSD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3600	60	×	○	×	×	○	×	
	LT21MLD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3200	60	×	○	×	×	○	○	
	LT22MLD1		6400		×	○	×	×	○	○	
	LT23M*C1	LTO3 (フルハイト) ライブラリ	16000	80	×	○	×	×	○	○	
	LT20MSG1	LTO4 (ハーフハイト) ライブラリ	7200	120	×	○	×	×	○	×	
	LT22MLE1/ LT23MFE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	12800/ 32000	120	×	○	×	×	○	○	
	PG-DT501	DAT72	36	3.0	×	○	×	○ Server Start	○	○	・定期的なクリーニング必須
DAT 装置	PG-DT504 PG-DT5041 PG-DT5043 PG-DT5044 PG-DT5045				×	○ Server Start	×	○ Server Start	○ Server Start	○ Server Start	

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows Server® 2003, Standard Edition /Enterprise Edition / Standard x64 Edition /Enterprise x64 Edition			Windows® Small Business Server 2008 Standard Edition /Windows® Small Business Server 2008 Premium Edition		Windows® Small Business Server 2003 Standard Edition /Windows® Small Business Server 2003 R2 Standard Edition		備考
					NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	Windows Server Backup	CA ARCserve® Backup r12	NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1023	RDX	40 ↓ 160	16	○	○	○	×	×	○	×	・メンテナンスフリー
	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	○ Server Start	○	○	×	×	○ Server Start	×	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	○ Server Start	○	○	×	×	○ Server Start	×	
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	○ Server Start	○	○	×	×	○ Server Start	×	
LTO 装置	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	○ Server Start	○	○	×	×	○ Server Start	×	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20MSD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3600	60	×	○	×	×	×	×	×	
	LT21MLD1		3200	60	×	○	○	×	×	×	×	
	LT22MLD1		6400		×	○	○	×	×	×	×	
	LT23M*C1	LTO3 (フルハイト) ライブラリ	16000	80	×	○	○	×	×	×	×	
	LT20MSG1	LTO4 (ハーフハイト) ライブラリ	7200	120	×	○	×	×	×	×	×	
	LT22MLE1/ LT23MFE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	12800/ 32000	120	×	○	○	×	×	×	×	
	PG-DT501	DAT72	36	3.0	○ Server Start	○	○	×	×	○ Server Start	×	・定期的なクリーニング必須
DAT 装置	PG-DT504 PG-DT5041 PG-DT5043 PG-DT5044 PG-DT5045				○ Server Start	○ Server Start	○ Server Start	×	×	×	×	

※記録容量/処理速度は非圧縮時の値。
 ※NTBACKUPでバックアップした場合、各装置の処理速度よりも遅くなる場合があります。処理性能を重視される場合にはARCserveの使用をお勧めします。
 ※Windows Server® 2008 Foundationの対応状況につきましては、弊社HP (<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/>)を参照ください。
 ※ETERNUS製品の詳細につきましては、インターネット情報ページ URL:<http://storage-system.fujitsu.com/jp/>にてご確認ください。
 ※内蔵DAT72ユニット(PG-DT504/PG-DT5041/PG-DT5042/PG-DT504D)をBrightStor ARCserve r11.5で使用する場合は、SP1を適用する必要があります。
 ※Windows Server® 2003 R2 / Windows Server® 2003 x64 EditionsでBrightStor ARCserve r11.5を使用する場合は、SP1を適用する必要があります。
 ※「ServerStart」はServerStart CDまたは、PRIMERGYスタートアップディスク内のデバイスドライバを使用することを示します。
 ※Windows Server® 2008のServer Core環境では未サポートです。
 ※Windows Server® 2008のHyper-V機能を使用する場合、CA ARCserve Backup r12 for Windows-Japanese L10以降を使用する必要があります。

システム構成図留意事項

<Linux関連>

Red Hat Enterprise Linux											備考
バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	5 (for x86)		AS (v.4 for x86)		ES (v.4 for x86)		
					NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1023	RDX	40 ↓ 160	16	×	×	×	×	×	×	・メンテナンスフリー ・tarなどのコマンドを使用
LTO 装置	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	○	○	○	○	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	○	×	○	×	○	×	
	LT20MSD1	LTO3 (6720バイト) ライブラリ	3600	60	×	×	○	×	○	×	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20MSG1	LTO4 (6720バイト) ライブラリ	7200	120	×	×	○	×	○	×	
	LT21MLD1	LTO3 (6720バイト) ライブラリ	3200	60	○	○	○	○	○	○	
	LT22MLD1	LTO3 (6720バイト) ライブラリ	6400		○	○	○	○	○	○	
	LT22MLE1	LTO4 (7680バイト) ライブラリ	12800	120	○	○	○	○	○	○	
	LT23M*C1	LTO3 (7680バイト) ライブラリ	16000	80	○	○	○	○	○	○	
	LT23MFE1	LTO4 (7680バイト) ライブラリ	32000	120	○	×	○	×	○	×	
	DAT 装置	PG-DT501 PG-DT504 PG-DT5044	DAT72	36	3.0	○	○	○	○	○	
PG-DT5041		○				○	○	○	○	×	
PG-DT5043 PG-DT5045		○				○	○	×	○	○	

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Red Hat Enterprise Linux						備考
					5 (for Intel64)		AS (v.4 for EM64T)		ES (v.4 for EM64T)		
					NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	
RDX装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1023	RDX	40 ↓ 160	16	×	×	×	×	×	×	・メンテナンスフリー ・tarなどのコマンドを使用
LTO装置	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	○	○	○	○	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	○	×	○	×	○	×	
	LT20MSD1	LTO3 (6-70kバイト) タイプ3リ	3600	60	×	×	○	×	○	×	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20MSG1	LTO4 (6-70kバイト) タイプ3リ	7200	120	×	×	○	×	○	×	
	LT21MLD1	LTO3 (6-70kバイト) タイプ3リ	3200	60	○	○	○	○	○	○	
	LT22MLD1		6400		○	○	○	○	○	○	
	LT22MLE1	LTO4 (70kバイト) タイプ3リ	12800	120	○	○	○	○	○	○	
	LT23M*C1	LTO3 (70kバイト) タイプ3リ	16000	80	○	○	○	○	○	○	
LT23MFE1	LTO4 (70kバイト) タイプ3リ	32000	120	○	×	○	×	○	×		
DAT装置	PG-DT501 PG-DT504 PG-DT5044	DAT72	36	3.0	○	○	○	○	○	○	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT5041				○	○	○	○	○	○	
	PG-DT5043 PG-DT5045				○	○	○	○	○	×	

※記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

※ETERNUS製品の詳細につきましては、インターネット情報ページ URL: <http://storage-system.fujitsu.com/jp/>にてご確認ください。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- ・ Windows Server 2008およびWindows Server 2003 R2のライセンスにはダウングレード権があります。
- ・ 旧バージョンのWindows Serve OSを購入されたお客様は、ライセンス製品の購入時にSoftware Assuranceも併せて購入した場合、契約有効期間内であれば最新バージョンのWindows Server OSを使用する権利があります。
- ・ Windows Server OSをダウングレードする場合は、同一エディション間でのみダウングレード可能となります。
例えば、Windows Server 2008, StandardをWindows Server 2003 R2へダウングレードする場合は、Windows Server 2003 R2, Standard Editionへのみダウングレード可能です。
Windows Server 2003 R2, Enterprise Editionへダウングレードすることはできません。
- ・ ダウングレード権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアを所有している必要があります。
(その際のメディアとプロダクトキーについては、他のPRIMERGYに添付されているメディア、もしくは正規に入手したボリュームライセンス用のメディアをご使用下さい。)

Windows Server® 2008 プレインストール/バンドルタイプのOSについて

※Windows Server® 2008 Standardのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。
また、Windows Server® 2008 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Enterprise (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。

Windows Server® 2008/ Windows Server® 2003 R2 x64 EditionのOSインストールについて

※標準でDVDドライブを搭載していないモデルにおいては、Windows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)、Windows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 EditionのOSをインストールするために別途DVDドライブを手配する必要があります。

Linux関連事項

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプについて

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、Linux OSをお客様に代わってインストールするサービス [インストール代行サービス] をPRIMERGYにバンドルして出荷いたします。

Linux OSの利用権について

- ・Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、以下の範囲内でRed Hat Enterprise Linux のバージョンやアーキテクチャ [x86/EM64T(Intel64)]を変更することができます。
- 対象機種種のサポートOSの範囲内であれば、Linuxインストール代行サービスバンドルタイプに標準添付しているRed Hat Networkのサブスクリプションを利用して、インストールに必要なソフトウェアをダウンロードして利用することができます。
- この場合再インストールが必要とはなりますが、変更後のOSにおいても標準添付のLinuxサポートや、SupportDeskバック（有償）のご利用が可能です。

Red Hat Enterprise Linux ESグループ

Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
 Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
 Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
 Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ブロックデバイスの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ブロックデバイスの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ブロックデバイスの使用可能最大サイズ
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	144GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	144GB	8TB未満 ※1

※1 システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

ディスクレスタイプのサポートについて

ディスクレスタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>)を参照下さい。

また、サポートを必要とされるお客様につきましては、サービス一覧の「保守サービスSupportDesk (Linux/OSS)」を参照ください。

サポート対象ディストリビューション(※)

- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

※サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

Linuxのサポート版数について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプのインストール版数、および弊社PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照下さい。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。※各サーバにて使用可能なOSはサーバ本体のサポートOSに準じます

管理OS ゲストOS		Windows Server® 2008 Standard (64-bit)/ Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	RedHat Enterprise Linux 5 *5				VMware Infrastructure 3
		Hyper-V	Xen				
			5.0	5.1	5.2	5.3	
W i n d o w s	Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)	SPなし *1	×				SPなし
	Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)	SPなし *1*2	×				SPなし
	Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	SPなし *1*2	×				SPなし
	Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2	×				SPなし/SP2
	Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2 *2	×				SPなし/SP2
	Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2 *3	×				SPなし/SP1/SP2
	Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2 *2*3	×				SPなし/SP1/SP2
	Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	SP4 *2*4	×				SP3/SP4
	Windows Server® NT 4.0 Server	×	×				SP3/SP4
	Windows® XP Professional	SP2/SP3*3	×				SP1/SP2/SP3
	Windows® XP Professional x64 Edition	SP2*3	×				SP2
	Windows Vista® Enterprise (32/64bit)	SP1*3	×				SPなし/SP1
	Windows Vista® Business (32/64bit)	SP1*3	×				SPなし/SP1
	Windows Vista® Home Basic (32/64bit)	SP1*3	×				SPなし/SP1
	Windows Vista® Home Premium (32/64bit)	SP1*3	×				SPなし/SP1
	Windows Vista® Ultimate (32/64bit)	SP1*3	×				SPなし/SP1
L i n u x	RedHat Enterprise Linux 5 (for x86/ for Intel64)	×	5.0	～5.1	～5.2	5.3	○
	RedHat Enterprise Linux ES (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6～	4.6～	4.6～	○
	RedHat Enterprise Linux AS (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6～	4.6～	4.6～	○
	RedHat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	×	×	×	×	×	○

※○:サポート対象、×:サポート対象外を示す。(SP/版数は記載内でのサポートとなります)

*1) 1,2,4CPUで動作可能となります。

*2) RX100 S5/ECONEL100 S2/TX150 S6においてはサポート対象外

*3) 1,2CPUで動作可能となります。

*4) 1CPUで動作可能となります。

*5) Xeon X5570/E5540/E5520/L5506/E5504/E5502使用時は管理OS版数:5.3、ゲストOS版数:5.3においてのみサポート可能です。

また、Speed Stepのサービスは利用できません。